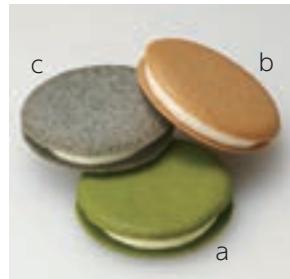




D&Nコンフェクショナリーは、 外販事業にも力を注いでおります。

“最高級の素材”×“匠の技”＝珠玉のラング・ド・シャ
「花のごとく」新商品を、今年1月発売



【お濃茶 ラング・ド・シャ】(a)

京都・宇治、最高級の抹茶を贅沢に使用。お濃茶本来の旨みと香りをそのまま閉じ込め、さくりと焼きあげました。ひと口ごとに広がる、萌ゆる茶葉の香りをご堪能ください。

【芳醇きな粉 ラング・ド・シャ】(NEW) (b)

特選国内産大豆を独特の手法で深炒りし、丹念に挽きあげた「京きなこ黒洲」を使用。芳香と独特な色合いをお楽しみいただけます。

【極み黒ごま ラング・ド・シャ】(NEW) (c)

希少価値の高い国産黒ゴマを100%使用。ゴマのうまみと香りを引き出すため、丁寧に丁寧にすりあげました。ゴマならではの軽い食感も特長のひとつです。

スティックタイプのチーズケーキ
「東京ぼーの」

お子様から大人まで幅広くご好評いただいている「東京ぼーの」。おかげさまで、販売数一日1万5,000本の人気商品に成長いたしました(2013年4月現在)。



お取扱店

- Qi_to_wa(きとわ)大丸東京店
東京都千代田区丸の内1-9-1 大丸東京店B1F 03-6269-9082
- Qi_to_wa(きとわ)松屋浅草店
東京都台東区花川戸1-4-1 松屋浅草店1F 03-3843-7073

お取扱店

大丸東京店のほか、羽田空港および成田空港のANA FESTA、BLUE SKY各店舗
オンラインショップ www.dn-sweets.net/



DNREPORT Vol.11

株式会社ドトール・日レスホールディングス
2013年2月期 報告書



CONTENTS

特集：国内展開の新たなチャレンジ ..	1
海外進出最新レポート ..	5
新メニューカレンダー ..	7
連結決算ハイライト ..	9
マネジメントメッセージ ..	10
事業別の概況 ..	13
連結財務諸表 ..	14
会社概要 ..	15
株式情報 ..	17

株式会社ドトール・日レスホールディングス
URL <http://www.dnh.co.jp>

本社 東京都渋谷区猿樂町10番11号
TEL 03-5459-9178 (代表)

DOUTOR
株式会社ドトールコーヒー
www.doutor.co.jp

NRS
日本レストランシステム株式会社
www.n-rs.co.jp



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



適切に管理された森林資源を
用紙の材料にしています。



VOC(揮発性有機化合物)
の発生が少ない、ベジタブル
インクを使用しています。

こだわりのフルサービスで急成長!

2011年に第一号店をオープンしたフルサービスの喫茶業態「星乃珈琲店」は、現在順調に出店拡大中です。当期34店舗をオープンさせ、全国に48店舗展開(2013年4月末現在)。今後はフランチャイズ展開も視野に出店ペースを加速し、当社収益の新たな柱として展開してまいります。

星乃珈琲店



くつろぎの空間と味のクオリティが高評価 首都圏を中心に出店加速

本格派コーヒー店として、豆選びから徹底的にこだわり、それぞれのコーヒー豆の特徴にあわせて自社焙煎。手間をいとわずハンドドリップにこだわり、一杯ずつ真心こめて淹れたコーヒーは、豆の「香り」と「コク」を最大限に引き出しています。

店内はアンティークのソファや時計をあしらひ、落ち着いた雰囲気演出。お客様にゆったりとくつろいでいただける時間と空間の中、充実した自慢のフードメニュー、デザートメニューを提供しております。

現在、首都圏だけでなく関西・中部圏にも店舗を展開。出店地域によって、よりお客様のニーズに応えられるようメニューや店内の造りを工夫しております。

郊外店は店内スペースを広く確保し、メニューも豊富に取り揃え、幅広い年齢層のお客様に支持を得ています。都心の店舗は、お一人様でもくつろいでいただける店舗造りを施し、メニュー数を絞ることで、スタイリッシュな印象に。

今後も、多くのお客様に支持されるよう、地域に合わせた店舗展開をすすめてまいります。

グループのノウハウを活かしてフランチャイズ展開も開始

日本レストランシステムでは創業以来、直営での店舗展開をしてまいりました。しかし、「星乃珈琲店」の展開につきましては、グループ会社であるドールコーヒーのノウハウを活かして、フランチャイズの店舗展開も積極的に行う計画でございます。フランチャイズオーナー様の募集も既に開始しており、今期中にFC第一号店のオープンを予定し、直営店と共に出店を加速してまいります。



習志野台店

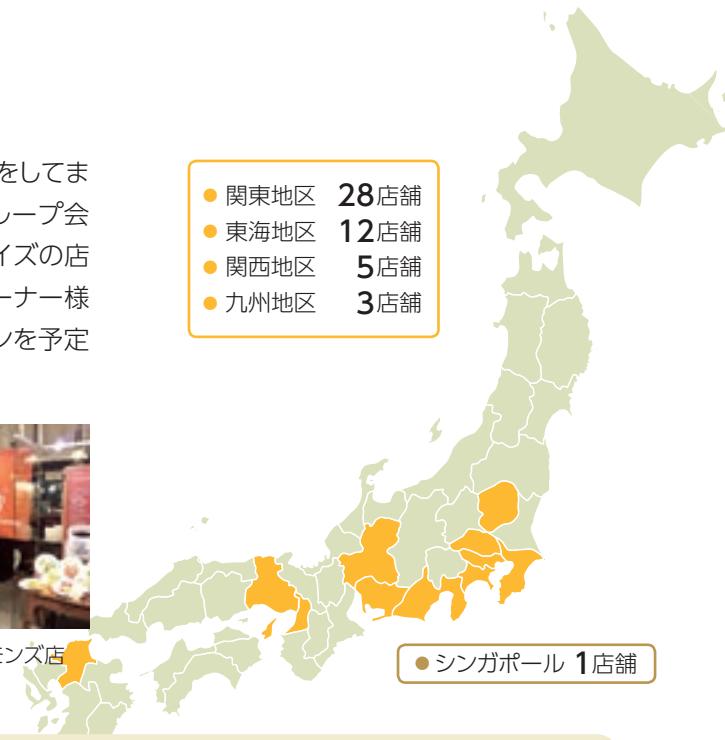


鶴ヶ島店



青山ベルコモンズ店

- 関東地区 28店舗
- 東海地区 12店舗
- 関西地区 5店舗
- 九州地区 3店舗



● シンガポール 1店舗

人気の秘密はくつろぎの空間と極上の味

自社焙煎とハンドドリップにこだわったコーヒー スフレパンケーキなど味にこだわったフードメニュー



オーダーごとにハンドドリップで一杯ずつ淹れるプレミアムコーヒーは、「香り」と「コク」が格別。一枚一枚を丁寧に焼き上げ、ふわふわの生地にシロップをかけた自慢の窯焼きスフレパンケーキやスフレドリア、窯焼きカレーなど、スイーツやフードメニューも豊富にご用意。また、フルサービスのおもてなしとゆったりとした客席で、くつろぎの空間を提供しております。グループの持つさまざまなノウハウを活かした、こだわりのメニューを是非お楽しみください。



窯焼きスフレパンケーキ



窯焼きカレー

より多くのお客様にドトール商品を

ドトールコーヒーが長年培ってきた商品開発のノウハウを、大手食品メーカーとコラボレート。アイスクリームやカップデザートなど新たな分野でも、ドトールブランドは好感をもって受け入れられ、市場の活性化につながっています。



森永製菓とのコラボレーション

昨年2月発売の「ドトール プレミアムアイスクリーム〈コーヒー〉」や、5月にはクリーミーなシャーベット「ドトール フローズン カフェ・オ・レ」、9月には本格コーヒーアイス「ドトール カフェ・オ・レ アーモンドバー」を森永製菓とコラボレーションで発売。こだわりのコーヒーアイスは、甘さと酸味が特徴のコーヒー豆を直火焙煎し、コーヒー好きな大人の方々にも大変ご好評いただきました。

森永製菓株式会社

1899年「森永西洋菓子製造所」として設立した菓子メーカー。1905年には有名なエンゼルマークが誕生。1912年「森永製菓株式会社」に社名変更後、ミルクキャラメルをはじめとした食料品を開発。またバレンタインデーの普及など現在の日本の西洋菓子文化のパイオニアとなる。現在は、菓子・食品・冷菓・健康の4つの事業を柱に展開している。



ドトール フローズン
カフェ・オ・レ

ドトール
プレミアム
アイスクリーム
〈コーヒー〉

ドトール カフェ・オ・レ
アーモンドバー



モンテールとのコラボレーション

昨年6月に発売した「カフェゼリー」は、本格的な味わいのコーヒーゼリーとミルクコーヒームース、ホイップの3層仕立てがご好評いただきました。

さらに今年4月には新たな試みで、人気のラテメニューの素材をプリンに合わせてアレンジした「とろけるプリン」を2種発売しました。

モンテールの自家製低温殺菌牛乳を使用し、滑らかな口当たり仕上げ、ドトールコーヒーショップの人気のドリンクメニュー「カフェ・ラテ」と「抹茶ラテ」の味の再現にこだわり、プリンにアレンジしました。

株式会社モンテール

1954年、「有限会社鈴木製菓」として創業。1975年「株式会社モンテール」に社名を変更。1980年代には賞味期限の短い中生菓子を開発し、お菓子の流通に変革をもたらした。その後、チルドデザート市場に参入し、「小さな洋菓子店」ブランドを展開。現在もスーパーやコンビニエンスストアでチルドデザートの高いシェアを誇る。



カフェゼリー

とろけるプリン・カフェラテ

とろけるプリン・抹茶

台湾でのグループ店舗展開について

当社グループのアジア展開は、レストラン業態・カフェ業態ともに多店舗化を進めております。現在28店舗(2013年2月末現在)展開しており、今後アジア地域への出店により、企業価値の向上に努めてまいります。

DOUTOB



ドトールコーヒーショップと洋麺屋五右衛門の併設店舗を台北市に初出店

昨年12月21日、台北市にドトールコーヒーショップと洋麺屋五右衛門の併設店舗を同時にオープン。

国父記念館のある中山公園の程近く、大通りに面した好立地で、旅行者はもちろん、地元の人も集まる台北市の人気エリアです。

台湾初出店となった洋麺屋五右衛門は、日本のメニューに、台湾向けのオリジナルスパゲティ4種を加えております。

ドトールコーヒーショップは、同じく12月にオープンした松山店を含め、台湾4店舗目となります。光復店では新しい試みとして、シングルオリジン(単一産地)の豆を店内焙煎し、ハンドドリップによるスペシャルティコーヒーの提供を行っております。



洋麺屋五右衛門 光復店

ドトールコーヒーショップ 光復店



●ドトールコーヒーショップ/洋麺屋五右衛門 光復店

	ドトールコーヒーショップ	洋麺屋五右衛門
所在地	台湾台北市大安區光南路292号	
店舗面積	56坪	81坪
客席数	店内62席/テラス10席	店内94席/テラス4席
営業時間	7:30~23:00	11:00~22:00
営業形態	直営店	
その他	ミニキッチンを併設(十数店舗分のスープ・スイーツ等を製造可能)	

新たな取り組みで、他業態との差別化を

洋麺屋五右衛門光復店では、厨房とは別にミニキッチンも併設。ミニキッチンでは、洋麺屋五右衛門のパスタソースや、ドトールコーヒーショップのケーキもオリジナルのものを製造しております。

ドトールコーヒーショップ光復店には、店内に焙煎釜を導入。店で焙煎した新鮮な豆を、注文ごとに一杯一杯ハンドドリップで抽出し、お席まで提供するスタイルです。

台湾はコンビニ内での淹れたてコーヒー販売やローカルカフェチェーンも多数。店内焙煎を行うカフェも見られ、日本と同様にカフェ市場が多様化しています。

ドトールコーヒーショップとして、コーヒーのクオリティにこだわるのはもちろん、オリジナルのミラノサンドやデザートの開発、スタッフサービスまで、現地のニーズに合わせた店作りをしてまいります。



台湾オリジナルメニュー



台湾を含めたアジアでの積極出店を計画

アジア展開は2014年2月期までに15店舗程度の出店を計画しております。

当社ブランドのこだわりを追求しながら、各国のお客様のニーズに合わせたメニュー開発や接客サービスを展開し、お客様満足度のさらなる向上に努めてまいります。

新メニューカレンダー 2012.9~2013.2

限定メニューは随時実施しています。
詳しくは当社ウェブサイト www.dnh.co.jp から各社のホームページへ

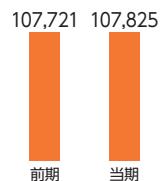
 <p>「ホットパリサンド ローストチキン& きのこクリーム」 (9月13日)</p>  <p>DOUOR 「マロン マロン・ラテ」 「チョコとナッツのケーキ」 (9月6日) 「ミラノサンド グリルチキン とトマトのソース」 (9月20日)</p> 	<p>DOUOR 「チリミートドック」 (10月11日) 「ホットサンド ハムチーズ ~2種のとろける ナチュラルチーズ~」 (10月25日)</p>  	  <p>EXCELSIOR CAFFE 「半熟タマゴとポテトグラタン」 「ダブルナッツラテ」 (11月1日) 「クリスマス島の 塩キャラメルラテ」 (11月29日)</p>	<p>冬の期間限定おすすめ メニュー (12月8日)</p>   <p>さんるむ 冬のおすすめ人気メニュー (12月17日)</p> 	 <p>「カフェモカショコラ」 (1月10日)</p> 	 <p>「ホワイトショコラ・ ストロベリー」 (2月28日)</p> 
<p>9月</p> <p>秋の期間限定 おすすめメニュー (9月21日)</p>  	<p>10月</p> <p>ふわり卵 「スフレオムライス」 「スフレドリア」 (9月30日)</p>  	<p>11月</p> <p>DOUOR 「ローストビーフ ~特製デミグラスソース~」 「モカジャバ マサラ」 「モカジャバ アーモンド」 (11月29日)</p>  	<p>12月</p> <p>牛たん焼き 心見 冬のおすすめランチ 「上たん焼きと三陸産 カキフライ定食」 (12月8日)</p>  <p>星乃珈琲店 冬限定パンケーキ 「りんごのスフレ パンケーキ」 (12月11日)</p> 	<p>1月</p> <p>DOUOR 「ミラノサンド パストラミビーフ」 (1月10日) 「スパイスショコラ」 「ガトーショコラ」 (1月24日)</p>  	<p>2月</p> <p>DOUOR 「ミラノサンド エビ・ツナトマト と半熟タマゴ」 「カフェ・ラテ ウィンナー」 「ヨーグルトドリンクベリー ヨーグルト」 「さくらのロールケーキ」 (2月28日)</p> 

当期のポイント

- ▶▶ カフェ部門、レストラン部門ともに、既存店の業績が堅調に推移
- ▶▶ グループノウハウを結集したフルサービスのカフェ業態「星乃珈琲店」を多店舗化
- ▶▶ 原材料安による粗利益率の改善
- ▶▶ 磐石な財務基盤のもと、一株当たり純資産額は1,770円超に

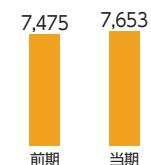
連結売上高

● **107,825**百万円
(前期比 0.1%増)



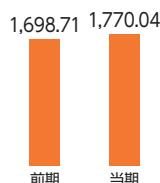
連結経常利益

● **7,653**百万円
(前期比 2.4%増)



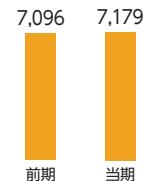
連結一株当たり純資産額

● **1,770.04**円
(前期比 71.33円増)



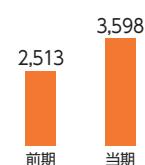
連結営業利益

● **7,179**百万円
(前期比 1.2%増)



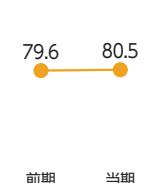
連結当期純利益

● **3,598**百万円
(前期比 43.2%増)



連結自己資本比率

● **80.5%**
(前期比 0.9ポイント増)



増収増益基調を維持しつつ 新たな成長基盤を構築してまいります。



株主の皆様方におかれましては、平素より当社事業への格別のご支援とご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、欧州債務危機が依然として解決されないことや近隣諸国との関係悪化が企業業績にも影を落とし、総じて弱含みで推移しましたが、昨年12月の政権交代後の経済対策に対する期待感から、円安基調への転換や株価の回復が見られるなど、先行きに明るい兆しも見受けられるようになりました。

外食業界におきましては、個人消費も百貨店等で一部高額品に動きがあるものの本格回復には至らず、消費者の節約志向や内食傾向、円安による輸入品価格の实质値上がり、さらには原材料価格の上昇により厳しい経営環境で推移しました。

このような状況下で、当社グループは、「外食業界における日本一のエクセレント・リーディングカンパニー」の地位確立を目指し、立地を厳選してグループ全体で55店舗(直営店28店舗、加盟店18店舗、海外9店舗)を新規に出店しました。また、顧客の嗜好に合わせて45店舗の業態変更を行い、特に「星乃珈琲店」においては、メ

ニュー内容を変更するなど、商品やサービスをブラッシュアップしつつチェーン化を一層推し進めました。さらに、既存事業においても、ブランド価値の向上策、業務の効率化、新規業態の立ち上げ、新メニュー開発など事業基盤の強化に努めました。

海外展開では、シンガポールにおいて「洋麺屋五右衛門」の多店舗化を推進するとともに、「ドトールコーヒーショップ」と「星乃珈琲店」を初出店しました。また、台湾では「洋麺屋五右衛門」を初出店するとともに、「ドトールコーヒーショップ」の多店舗化に着手しました。新たな進出国としては、現地調査を兼ねながら、韓国、香港において「洋麺屋五右衛門」を初出店したほか、フィリピンにおいては、フランチャイズで「洋麺屋五右衛門」を初出しております。これらの結果、当連結会計年度末時点の海外店舗数は、シンガポール16店舗、中国4店舗、台湾5店舗、韓国1店舗、香港1店舗、フィリピン1店舗の計28店舗となりました。

当社では、国内既存事業の安定成長とグループシナジーの創出、そして海外事業展開の拡大による成長加速に邁進し、グループ全体の企業価値増大を目指してまいります。株主の皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

既存店の状況についてお聞かせください。

当期の既存店業績は、対前年比でドトールコーヒーが売上100.0%、客数99.6%。日本レストランシステムが売上99.8%、客数100.0%と、比較的順調な結果を残すことができました。

日本レストランシステムについては、一昨年のTV放映などの反動もあり上期は若干苦戦したものの、「洋麺屋五右衛門」をはじめとした既存業態のメニューの改廃やパンケーキ専門店の「ミーズパンケーキ」など新業態開発を行ったほか、お客様の嗜好に合わせて積極的な業態変更を行った結果、堅調な業績を出すことができました。

ドトールコーヒーにおいても、季節に合わせた新商品の販売やモーニング、ランチ、ティータイムなど、時

間帯別のセットメニュー導入により、新規のお客様の獲得や既存のお客様への再訴求に努めるとともに、デザイン性の高い店舗の新規出店や既存店の改装を積極的に展開することで、ブランド力の強化に力を入れたことも奏功しました。

グループ全体の中では、業態変更を中心に多店舗化を進めたフルサービスのカフェ業態である「星乃珈琲店」がお客様のご支持をいただき、大変好調な業績を出しております。「星乃珈琲店」は、グループの持つカフェ・レストラン・洋菓子といった多くのノウハウを導入したグループシナジーを発揮した業態となっております。今後も新業態の開発に力を入れることで、既存事業の発展に繋げていきたいと考えております。

海外事業の進捗状況についてお聞かせください。

当期末現在の海外店舗数は、シンガポール16店舗、中国4店舗、台湾5店舗、韓国、香港およびフィリピンでそれぞれ1店舗の合計28店舗となっております。

それぞれの国により進捗状況は異なりますが、シンガポールではドトールコーヒーショップ1号店が開店当初より来客数が予想に達しなかったものの、改善を行っていく中で、来客数は増加してきております。シンガポール、台湾共に好立地物件を調査し、ドトールコーヒーショップ、洋麺屋五右衛門のみならず星乃珈琲店など他の業態も進出を予定しております。韓国・フィリピンについては、現状は予想した範囲内で進捗してお

りますが、現地のお客様の反応を分析しつつ、多店舗化を図ってまいります。なお、中国については、好立地物件を調査中です。

全体の進捗状況としては、当初計画より出店が若干遅れている状況ではありますが、現地のお客様のニーズを分析しながら、着実に収益を確保できる体制作りをしていきたいと考えております。また、シンガポールで星乃珈琲店を出店したように、海外においては、一つの業態を多店舗化していただくだけでなく、当社の持つさまざまな業態の出店を検討し、さらなる成長に向けて店舗の拡大に努めてまいります。

来期の見通しについてお聞かせください。

2014年2月期は、売上高111,183百万円(前期比103.1%)、営業利益7,703百万円(前期比107.3%)、経常利益8,054百万円(前期比105.2%)、当期純利益3,709百万円(前期比103.1%)を計画しております。

計画の前提としては、来年度に検討されている消費増税を視野に入れながら、新規出店と既存店の改装に力を入れていく計画で、グループ全体での新規出店が国内で90店舗、海外で15店舗の合計105店舗を計画しております。

内訳としては、ドトールコーヒーショップで44店舗(FC36、直営8)、星乃珈琲店で30店舗、その他洋麺屋五右衛門などで16店舗、国内合計90店舗の計画とな

ります。海外については、シンガポールや台湾を中心に、香港でも多店舗化を図る方向で計画しております。

既存店については、ドトールコーヒーショップにおいて主にブランド価値の向上を目的に改装を実施する予定です。これらの計画により、今期の設備投資額は75億円程度を見込んでおります。

将来に向けた中長期的な視点にたって、新規出店や改装を積極的に行うことにより、売上の増大に努めるとともに、各業態のブランド価値向上に力を入れていきたいと考えております。



代表取締役会長
山内 実



代表取締役社長
星野 正則

レストラン事業

レストラン事業では、アジア各地のグルメを集めたアジア料理専門店の「アジアマルシェ」、正統派インド料理専門店の「タージマハール」、パンケーキ専門店の「ミーズパンケーキ」、オムライスの「ふんわり卵」、北欧で親しまれているフードメニューを取り入れた「OSLO COFFEE」の新業態を開発しました。また、牛たん焼き専門店の「仙台辺見」の多店舗化、洋麺屋五右衛門の新メニューの導入など既存事業の強化に努めました。さらに、大阪駅、東京スカイツリーに併設の商業施設であるソラマチ及び成田国際空港の好立地に「洋麺屋五右衛門」を出店しました。

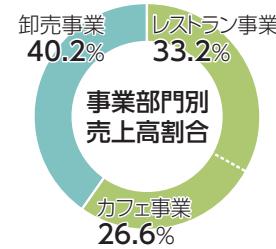
カフェ事業

カフェ事業では、季節に合わせた魅力ある商品作りを継続するとともに、本年度よりさらに注力している「朝だけセット(モーニング)」、「昼のミラノサンド」、「ティータイムのケーキセット」といった時間帯別のセットメニューや新商品施策がお客様のご支持をいただくなど、既存事業の強化と美味しさの追求に努めました。また、販売促進活動を強化するため、クリスマスキャンペーン『DOUTOR'S Hearty Christmas 2012』を開催するなど、新規顧客獲得のため積極的なお客様へのアプローチに取組みました。さらに、デザイン性の高い店舗の新規出店や改装などを積極的に展開するなど、ブランド力の強化に努めたことも奏功し、既存店売上高は堅調に推移いたしました。

海外展開については、シンガポールにドトールコーヒーショップを初出店し、ASEAN市場へのカフェ事業の展開を開始するとともに、台湾における多店舗展開に着手いたしました。

卸売事業

一般卸売事業では、洋菓子部門において、大丸東京店に新しいコンセプトのスイーツショップ「Qi_to_wa(きとわ)」をオープンし、新商品「お濃茶ラング・ドシャ “花のごとく”」の販売を開始するなど、催事中心の販売活動から、常設店舗の新規出店にも注力し、消費者向け商品の開発や販路の拡大に努め、着実に売上を伸ばすことができました。一方、コーヒー部門においては、ドリップコーヒーやコーヒー原料の販路拡大、スーパーなど量販店向け商品の開発や販売の拡大、チルド飲料など定番商品と新商品の継続的な投入に注力し、業容の拡大に努めましたが、昨年の需要増の反動から売上高は減少する結果となりました。



連結貸借対照表(要旨)

(単位: 百万円)

科目	当期 2013年2月28日現在	前期 2012年2月29日現在
資産の部		
流動資産	42,160	32,378
固定資産	63,805	70,466
有形固定資産	34,767	35,021
無形固定資産	1,406	1,643
投資その他の資産	27,632	33,801
資産合計	105,966	102,845
負債の部		
流動負債	14,956	15,281
固定負債	5,629	5,624
負債合計	20,585	20,905
純資産の部		
株主資本	84,890	82,544
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	25,858	25,858
利益剰余金	60,816	58,471
自己株式	△ 2,784	△ 2,784
その他の包括利益累計額	409	△ 681
その他有価証券評価差額金	50	△ 550
繰延ヘッジ損益	331	△ 126
為替換算調整勘定	27	△ 4
少数株主持分	80	76
純資産合計	85,380	81,939
負債及び純資産合計	105,966	102,845

連結損益計算書(要旨)

(単位: 百万円)

科目	当期 2012年3月1日から 2013年2月28日まで	前期 2011年3月1日から 2012年2月29日まで
売上高	107,825	107,721
売上原価	43,897	44,762
売上総利益	63,927	62,958
販売費及び一般管理費	56,748	55,861
営業利益	7,179	7,096
営業外収益	604	525
営業外費用	130	147
経常利益	7,653	7,475
特別利益	1,334	78
特別損失	2,594	1,877
税金等調整前当期純利益	6,393	5,676
法人税、住民税及び事業税	2,441	3,049
法人税等調整額	397	113
少数株主損益調整前当期純利益	3,554	2,513
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△ 43	0
当期純利益	3,598	2,513

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位: 百万円)

科目	当期 2012年3月1日から 2013年2月28日まで	前期 2011年3月1日から 2012年2月29日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,269	6,758
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 823	△ 1,873
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,643	△ 2,990
現金及び現金同等物に係る換算差額	173	△ 7
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,976	1,886
現金及び現金同等物の期首残高	20,898	19,011
現金及び現金同等物の期末残高	27,874	20,898

株式会社ドトール・日レスホールディングス

設立 2007年10月1日
 資本金 10億円
 従業員数 2,336名(連結)
 本社 東京都渋谷区猿楽町10番11号
 03-5459-9178(代表)
 事務所 東京都渋谷区神南一丁目10番1号
 03-5459-9178(代表)
 U R L <http://www.dnh.co.jp>

●取締役

代表取締役会長 山内 実
 代表取締役社長 星野 正則
 常務取締役 木高 毅史
 取締役 大林 豁史
 取締役 鳥羽 豊
 取締役 稲森 六郎
 取締役 青木 幸隆
 取締役 橋本 邦夫
 (社外)取締役 五味 淳吾
 (社外)取締役 星 秀明

●監査役

常勤監査役 郷井 義郎
 常勤監査役 宮林 哲夫
 (社外)監査役 梶川 浩
 (社外)監査役 吉島 重鐵

<2013年5月29日現在>

株式会社ドトールコーヒー

設立 1962年4月
 資本金 111億41百万円
 本社 東京都渋谷区神南一丁目10番1号
 03-5459-9008
 U R L <http://www.doutor.co.jp>

日本レストランシステム株式会社

設立 1973年6月
 資本金 35億5百万円
 本社 東京都渋谷区猿楽町10番11号
 03-6743-7010
 U R L <http://www.n-rs.co.jp>

D&Nコンフェクショナリー株式会社

設立 2008年8月 資本金 4億80百万円

D&Nカフェレストラン株式会社

設立 2008年12月 資本金 2億円

株式会社サンメリー

設立 1969年7月 資本金 50百万円

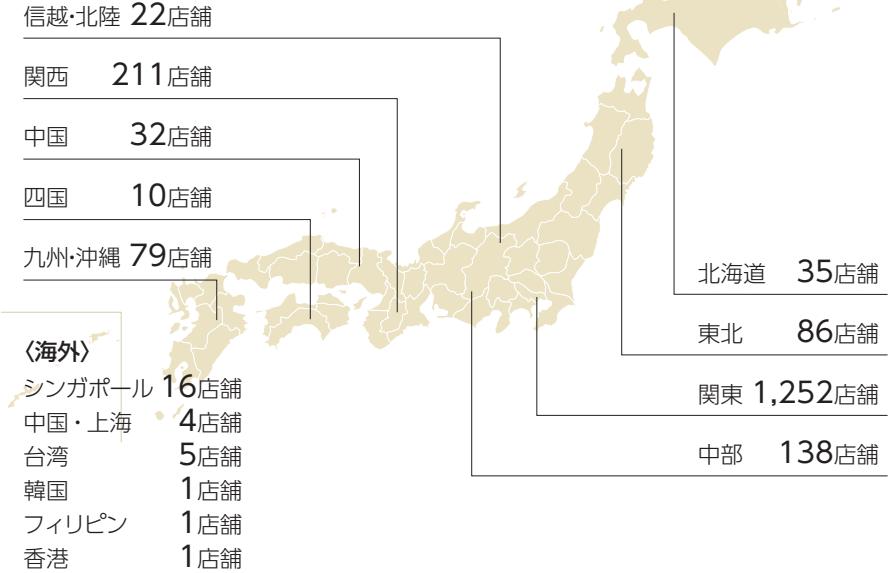
D&Nインターナショナル株式会社

設立 2011年8月 資本金 50百万円

グループ事業の概況

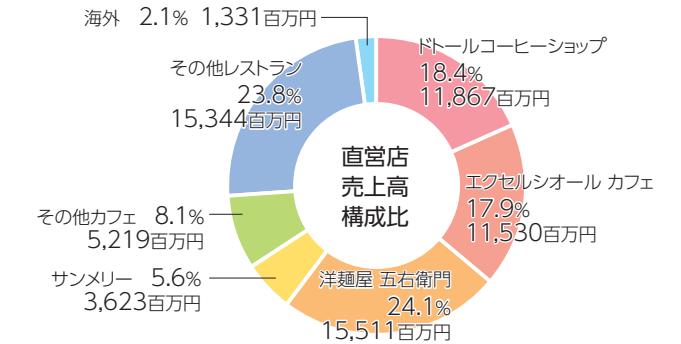


地域別店舗数



業態別店舗数 (2013年2月末)

業態名	全店	うちFC
ドトールコーヒーショップ	1,102	955
エクセルシオール カフェ	149	34
カフェ コロラド	74	72
洋麺屋 五右衛門	206	—
サンメリー	42	—
海外	28	1
その他	292	5
合計	1,893	1,067



※直営店の売上高は総売上高の59.8%を占めます。

本誌掲載情報の詳細については
 当社WEBサイトを
 ご参照ください。

<http://www.dnh.co.jp>



ドトール日レス

株式の状況

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	50,609,761株
株主数	47,436名

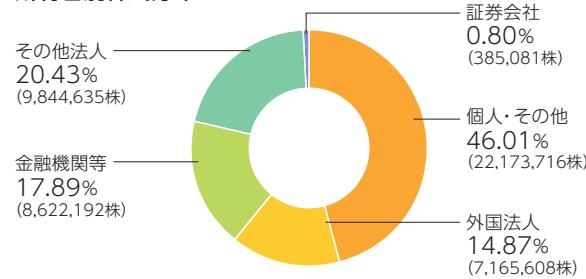
大株主

	持株数(千株)	持株比率(%)
大林 豁史	6,748	14.00
株式会社マダム・ヒロ	3,728	7.74
鳥羽 博道	2,430	5.04
株式会社バードフェザーリンク	2,300	4.77
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,973	4.10
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,652	3.43
日本たばこ産業株式会社	1,320	2.74
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー) サブアカウント アメリカンクライアント	1,076	2.23
山内 実	924	1.92
鳥羽 豊	830	1.72

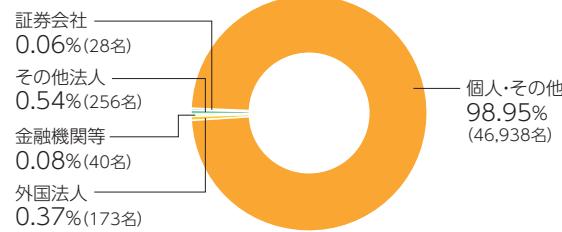
※持株比率は自己株式(2,418千株/4.78%)を控除しております。

株式・株主分布

所有者別株式分布



株主構成



株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで	事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
定時株主総会	毎年5月に開催します。	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部	
基準日	定時株主総会 2月末日 期末配当金 2月末日 中間配当金 8月31日	郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
	そのほか株主総会を開催する必要がある場合は、あらかじめ公告して基準日を定めます。	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部	電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
1単元の株式数	100株	公告掲載方法	電子公告により行います。(ただし、電子公告によることのできない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。)
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社	電子公告アドレス	http://www.dnh.co.jp/ir/koukoku/index.html

株主優待のご案内

対象株主と贈呈時期	優待制度の内容
毎年2月末日現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主様を対象とさせていただきます。毎年6月の贈呈を予定しております。	<ul style="list-style-type: none"> ● 100株以上500株未満 2,500円相当の商品 ● 500株以上 4,500円相当の商品

株式に関するお知らせ

● 単元未満株式の買取・買増について

単元未満株式(100株に満たない株式)の買取・買増を請求することができます。
当社では単元未満株式を買い取らせていただく「買取制度」と、不足分を買い増していただき単元株式(100株)にまとめる単元未満株式の「買増制度」をご利用いただけます。

● 配当金計算書について

配当金支払の際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、「配当金計算書」を同封させていただいております。
確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。



株式に関するお手続き等について

お手続き	お問い合わせ先	
	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
●株主名簿記載事項の変更 商号・氏名、住所、代理人選任、変更など	口座を開設した証券会社にお問い合わせください。	みずほ信託銀行 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 TEL: 0120-288-324
●単元未満株式の買取請求		
●単元未満株式の買増請求 その他手続きに関する事項		
●未払い配当金のお支払	上記みずほ信託銀行のほか、みずほ銀行、みずほ証券でもお取扱いいたします。	

(みずほ証券では取次のみとなります。)

お問い合わせ先(株主名簿管理人) 取次所	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 みずほ信託銀行株式会社 みずほ証券株式会社 本店、全国各支店および営業所
----------------------	---